

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 10 月 6 日

【評価実施概要】

事業所番号	3871300152
法人名	医療法人慶尚会 恵康病院
事業所名	グループホーム テレサ
所在地	四国中央市土居町蕪崎 1 6 7 番地 (電話) 0896-74-7677
管理者	千葉 多佳恵
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15
訪問調査日	平成 20 年 8 月 5 日
評価確定日	平成 20 年 10 月 7 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 7 月 12 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 7 月 14 日
ユニット数	2 ユニット
利用定員数計	18 人
職員数	14 人
常勤	10 人
非常勤	4 人
常勤換算	9.6 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有()円	〇 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食 円	昼食 円	
	夕食 円	おやつ 円	
	または1日当たり	1,000 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 7 月 12 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護 1	2 名	要介護 2	3 名		
要介護 3	9 名	要介護 4	4 名		
要介護 5	名	要支援 2	名		
年齢	平均 85.7 歳	最低 72 歳	最高 98 歳		

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

南ヨーロッパをイメージさせる暖かい雰囲気の建物の前には、町特産の里芋科の観葉植物と季節の花が置かれている。音楽や季節感を大切にしており、心地よく時間が流れているのが感じられる。調理師の資格を持った職員がおり、料理に心を砕いており、利用者は食事を十分に楽しむことができている。隣接している母体病院から医師が頻繁にホームを訪れ、利用者の健康状態等をチェックしており、健康管理面で安心感がある。職員同士の人間関係も良好で、職員の仲の良さがホーム全体の明るさにつながっている。職員は毎日笑顔を心がけ、利用者がゆったり楽しく過ごせることを目標にケアに努めている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目：外部4)

評価の意義と理解については、職員会議で検討したり、整理して文章化することでマンネリ化を防ぎ、初心に帰ることができるよう工夫している。運営推進会議ではホームに関する情報提供のほか、勉強会などを開く工夫をしている。現在、改善計画シートへの取り組みが中断しているが、再開することを期待する。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部4)

職員には職員会議の中で説明し、項目を各職員が分担して取り組み、各担当が作成したものを取りまとめ、最後に全員でチェックを行っている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部4, 5, 6)

年度末に次年度の計画を立て、2か月に1回開催している。会議では、ホームの状況報告をするだけでなく、ホームの食事の試食会をしたり、地域福祉や認知症に関する勉強会を実施するなど、運営に工夫を凝らしている。今後は、地域密着を考えた防災についての取り組みに期待したい。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7, 8)

家族に利用料の請求書を送る際、手紙やホーム便りを同封して報告している。また、買い物や散髪の際など、必要に応じて家族と連絡を取り合っている。より家族が意見等を出しやすくなるよう、意見箱の設置やホーム以外の苦情相談窓口の明示を望む。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3)

開設当初はなかなか地域との連携・交流が進まなかったが、積極的に職員が自治会活動に協力し、地域のボランティアやふれあいサロン等に参加するようになってから、少しずつホームに対する理解が広がっている。ホームが実施する行事にも地域の方の参加が得られはじめている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム テレサ

(ユニット名)

1F

記入者(管理者)

氏 名

千葉多佳恵

評価完了日

平成 20 年 7 月 12 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域の中でグループホームを意識しながら、利用者の「笑」をより多くみられるように 日々のケアに取り組んでいこうと努力している。 (外部評価) 全職員がそれぞれの思いを持ち寄ってホームの理念を作り上げている。まずは職員が笑顔、利用者も笑顔、そして地域の人へ笑顔の輪を広げていきたいという思いから「笑」を理念としている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) スタッフへの理念の浸透は、ほぼできている。またカンファレンスや、自己評価、サービス評価時などを利用し、皆で話し合う機会を設けている。 (外部評価) 職員全員で笑顔を共有し、常にこやかでいられるよう心がけており、毎月の細かい目標を立て「笑」の実践に取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 開設当初より、ご家族や、地域の方に話をする機会は、増えたように思う。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 昨年よりも、近隣の方との交流は確実に増えた。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会の行事には、交代で参加し、交流を深めている。また昨年の納涼祭には、多くの地域の方が訪れてもらえた。 (外部評価) 自治会に加入し、地域のボランティア活動にも参加するなどして、徐々に地域との交流を深めてきている。地域の方から畑で取れた野菜をおすそ分けしてもらうこともある。また、地域の運動会等の行事にも積極的に参加している。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) いろいろやりたいこともあったが、日々の忙しさもあり、実行できなかった。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) サービス評価の意義は、カンファレンスなどで充分話しあった。得に今年は自己評価の準備段階から全職員で取り組んだ。 (外部評価) 職員会議の中で前回の評価内容を振り返り話し合ったほか、評価の内容を整理し文章化することによってマンネリ化を防ぎ、初心に帰る努力をしている。多少の個人差はあるが、職員の理解は深まっている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議は、確実に定着してきていると思う。ただサービスの向上につながる取り組みにまでは至っていない。		
			(外部評価) 2か月に1回開催しており、ホームの状況報告のほか、地域福祉や認知症に関する勉強会を開催したり、またホームの食事の試食会を実施するなどして、内容に工夫を図っている。	※	勉強会を開催するなど、地域との連携を深め、また、ホームに対する理解を得るための努力が見られる。今後は更に多様な立場からの出席を得て開催することを望む。また、会議を通しての防災への取り組みにも期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) わかりにくいこと、困ったことは積極的に電話等で問い合わせしている。当事業所の不備なところも市町村担当者から指摘があり、善処するように努めている。		
			(外部評価) 地域包括支援センターの会議のほか、市地域包括ケアネットワーク会議にも出席し、関係機関のそれぞれの取り組みについて情報を共有している。相談ごとについては、市担当課または地域包括支援センターに相談している。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護、に対する勉強会は、昨年度はもてなかった。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 身体拘束、虐待に関しては、常に管理者に対象者の連絡体制を取っており、今のところ、該当者はいない。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ご家族の方の多くは、事業所との契約、ということの理解は乏しいことがあり戸惑いもあると思う。その都度理解を求めるよう説明はしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見、不満などは、随時聞くように努め、改善できるところは善処している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 定期的に、テレサだよりを発行し、ご家族に送付している。今年度より個人ノートを作り、生活のなかでのエピソードを記録し、ご家族に伝える試みもはじめている。 (外部評価) 家族に利用料の請求書を送付する際、手紙やホーム便りを同封して利用者の状況を報告している。また、家族がホームに訪れた際にも、口頭で報告している。遠方に住む家族も2か月に1度は訪問してくれるので、適切な報告ができています。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 特に機会を設けてはいないが、面会時などにご家族の方からのお話を聞くように努めている。 (外部評価) ホーム側には家族会があったほうが良いという思いがあり、家族に対して働きかけは行っているものの、設立までには至っていない。苦情等を受け付ける意見箱の設置はなく、また重要事項説明書等には、苦情相談窓口としてホームの窓口のみが記載されている。	※	家族や利用者がより意見や苦情等を表出しやすくなるように、意見箱の設置や、公的機関等の苦情相談窓口の明示を期待したい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日常的に職員から、意見を聞くよう努めている。また必要があれば運営者に意見が届くよう配慮している。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 柔軟な対応ができるほどの職員確保は難しいが、行事や、利用者の受診等の対応はできている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 運営者の理解を得られるよう、努力したい。 (外部評価) 人事異動はやむを得ないが、異動が決まった時点で利用者に紹介するなど、なるべく早く馴染めるよう努力している。ユニットごとの担当を決めているが、担当は両ユニットを行き来することを心がけ、緊急時に助け合える体制を整えている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 今年度は、いろいろな研修会に参加予定している。また職員個々もスキルアップのため、自主的に取り組んでいる。その支援はできる限りやっていきたいと考えている。 (外部評価) 平成19年度は研修の実施及び参加はできなかったが、今年度はグループホーム連絡協議会の東予地区研修に参加を予定している。職員の研修に対する意欲は高く、研修会への参加を希望する職員も多い。	※	計画的な研修の実施と、研修会への参加を期待する。平成20年度は研修への積極的な参加を予定しているとのことなので、今後の取り組みに期待したい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 同業者とのネットワーク作りも今年度は進めていこうと考えている。 (外部評価) 今年9月に東予地区のグループホーム連絡協議会の中で相互研修を実施する予定があり、また市内のグループホームが集まって勉強会をしようという動きもあり、実現すれば参加したいと思っている。	※	予定はされているものの、これまでの実績はなく、今後の取組みに期待する。また、意識向上やサービスの質を上げるために、研修だけでなく職員同士の交流も実施することを望む。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員同士では話し合いはできており、管理者へ報告することで少しは軽減できているが運営者と話す機会が少ない。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 希望を取り入れた勤務体制や環境を作ってくれることにより良い介護に向けての向上心が育っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人の思いに向き合い、利用者が持つ不安を理解し、受け入れられるような関係作りに努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族の方が求めているものを理解、把握し、どのような対応ができるかをスタッフで話し合い安心して入居できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人や家族の思いを確認し、緊急性があれば他の事業者の紹介等臨機応変に行なっている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) できるだけ努力している。 (外部評価) 入居前に家族や本人の見学を受け入れているほか、面談の後は、管理者が利用者の自宅を訪問するなどして、利用者の生活環境などを把握し、馴染みながらのサービスを提供できるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の思いを知ること努め、暮らしの中で分かち合え、支えあえる関係をこころがけている。 (外部評価) 本人の気持ちを大切にケアすることを心がけている。思いをうまく伝えられない利用者については、特に注意深く対応することとし、思いやりのケアを実践している。また、元農家の利用者からは農作業を、女性の利用者には野菜の調理方法など教えてもらうなどしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日々の出来事の情報に努め、家族と同じような思いで支えていく関係を築こうとしている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 入居したことにより、ご家族と疎遠にならないようコミュニケーションをとっている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 以前利用していた美容院に行くなど支援しているも利用者の体調の変化により、難しい場合もある。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 食卓の座席の工夫など、トラブルの回避につとめている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去されたご家族との交流の試みはない。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の生活の積み重ねで、その方の思いや、行動が把握できるよう努めている。 (外部評価) 日々の観察を積み重ねて利用者の思いを把握するよう努めている。個人ノート・介護記録・申し送りノートなどに、会話の中でのエピソードなどを書き込み、職員全員で共有するようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時にご家族から生活歴の聞き取りを行い今までの暮らしの継続をこころがける。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 様子の観察を行い一度の行動で判断せず原因を探るようつとめている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) カンファレンスで課題を解決できるよう計画をたてている。また情報シートをスタッフに書いてもらって計画の参考になっている。 (外部評価) 利用者の情報シートを作成し、職員間で共有している。情報シートは職員全員で情報の付け足しや訂正を行い、常に最新の情報を保ちながらケアにあたっている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的に見直しをおこなっているが、もう少し、ご本人やご家族と話す時間を取りたい。 (外部評価) 利用者の状況に変化があった時はカンファレンス時に意見を出し合い、見直しを行っている。また、状態にあまり変化の無い人も、月1回は計画の見直しを行っている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 今年度から従来の記録にあわせ個人ノートを作り、介護計画に反映させている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 個別の要望には、柔軟に対応している。多機能性を生かす取り組みには至っていない。 (外部評価) 墓参りや買い物、家族の宿泊、かかりつけ医以外への通院等、利用者の個別の要望にも可能な限り対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 今年度より、美容ボランティアなど地域の方が来てくれている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービスを受けている肩は、いないが、入居時など他事業所のケアマネと連絡をとり、情報の交換は行っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 特に協働はしていない。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 希望に応じ入居前からのかかりつけ病院に通院している方もいる。 (外部評価) 定期受診は2か月に1回実施している。その他、ホームには母体病院が隣接しており、医師が頻繁にホームを訪れ、利用者の健康チェック等を行っている。希望があれば遠方の病院であっても受診できるよう、外出支援等も行っている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医との連携はない。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力病院の外来看護師に相談している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 毎日洗濯物を取りにいたり、状況の把握につとめている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ターミナルケアにかんしては、まだ十分な準備はできていない。 (外部評価) ホームとしてターミナルケアを行うことはなく、母体病院で対応するという方針をとっており、現在のところ方針について文書化したものはない。	※	口頭だけではなく、文書化したもので利用者や家族に説明し、あらかじめ了解を得ておくことを期待する。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 医師、家族と相談のもと鳥君で行きたい。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入院などの場合は、可能な限り面会に出向く。他の施設への場合は、情報の提供を行い入居後一度は、面会に行く。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人情報の取り扱いは、気をつけている。		
			(外部評価) 守秘義務については日常的に指導を行い、徹底している。個人情報に記載した書類等は、来訪者に見られないよう置く場所についても工夫している。また、トイレ誘導時などプライバシーに対する配慮にも努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 入居者の状態に応じ、自分でできることは、自分でしていただくようこころがけている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) なるべく一人ひとりのペースを大事にしたいと思っているものの、できていない場面もあると思う。 (外部評価) 食事時間は、利用者個々のペースに合わせて食べられるように設定し、起床・就寝時間についても、利用者のペースに合わせている。入浴も自由にできる体制を取っており、無理強いをしないことをモットーとしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 毎朝鏡の前に立ち好みにあわせ整髪したり希望にあわせ、美容院に行ったりしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下処理を一緒にしたり、何が食べたいかリクエストを聞いたりしている。 (外部評価) 個人の好みに配慮し、別メニューで対応することもあり、また、ミキサー食・きざみ食・とろみ食など、利用者ごとに食態にも工夫している。準備や後片付けについては、もやしの根取りや豆の鞘取り、テーブル拭き、食器の片付けなどを利用者と一緒にしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個々の好みを大切に、食べられないものは、他の物に変えるなどできるだけ個別の対応を心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを把握し声かけをしたり、トイレ誘導をしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) その日の体調、本人の気分に合わせて、声かけ等で支援している。 (外部評価) 毎日お風呂を沸かしており、利用者が自由に入ることができる状態になっている。入浴を嫌う利用者が多いが、無理強いはいしない方針をとっている。	※	本人の意向を尊重して無理強いをしない方針を取っているとのことだが、入浴してない期間が長くなりがちな利用者もいるため、誘導時の声かけなどで気持ちよく楽しく入浴できるような工夫を期待する。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 眠れない人とは、しばらく話をしたり、日中落ち着かないひととは、ソファ等と一緒に座り話をする。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 趣味活動を通じて得意なことは続けてもらったり気持ちに外へ散歩に出かけたりする。 (外部評価) 新聞折りや洗濯物たたみなどを手伝ってもらっている。また、楽しみごととして塗り絵、裁縫、ビデオ、歌など、利用者はそれぞれが好きなことに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 週に一度パンを売りに来てくれるので、希望に応じて買い物をしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 季節ごとに花を見にでかけたり、散歩をしたりする。 (外部評価) 美容院やスーパーへの買い物、花見、寺参りなど、利用者の希望に応じた外出の支援をしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 誕生日には外食に行ったり、お祭りには神社に行くなどしている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご本人の希望にそって自らが電話をかけられるようにしている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも気軽に訪問していただき、自室やリビングで談笑している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) スタッフ全員がよく理解しており、拘束のないケアをしている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 安全性を確保するためチャイムをつけているが、日中は鍵をかけず、開放的な暮らしを支援している。 (外部評価) 玄関に人の出入りがあるとチャイムが鳴るように設定しているが、日中は鍵をかけないようにしている。安全面の配慮から、段差が大きい出入口については出入りできないようにしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜を通じて定期的に巡回するなど把握に努めている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 洗剤や、薬品など生命に関わるものは、保管にきをつけている。包丁は、夜間は安全な場所に保管している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 予測される危険を検討し、事故を未然に防ぐための工夫にとりくんでいる。事故が起こってしまった時は、報告書を作成しカンファレンスで話し合う。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 母体病院に連絡し指示をもらったり指導をうけている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 周知しているが訓練が不十分であり、対応にかんしては、不安な為十分な訓練を実施する。 (外部評価) 防災訓練は今年11月に実施を予定している。地域住民に対して、運営推進会議等において防災活動への協力をお願いしている。	※	地域の協力体制については、自治会でお願いしたり、運営推進会議で協力を呼びかけている。 予定はしているものの、まだ実施されてないため、夜間想定訓練やマニュアルの作成を含め、今後の取り組みに期待する。食料や水などの備蓄についても検討を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時面会時などにご家族に話したり、鈴などを使い転倒のリスク回避に努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日の血圧測定、検温、月に一度の体重測定など健康管理に努めている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬の担当職員を決め、情報を管理している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事の工夫、体を動かすなど対応。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアは欠かさず行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個別に食事の量を調整したり、している。 (外部評価) 食材担当者が仕入れを行い、その食材を見て、担当者が判断して献立をたて、食事を作っている。同じメニューが続かないよう食事記録をつけている。水分に注意が必要な人は、ペットボトルを活用して水分摂取量をチェックしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) インターネットなどを活用し、情報収集し、職員に発信している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材の新鮮さなど食中毒にならないよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 施錠はせず誰でも入ってこられるようにしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) できるだけ居心地の良いようきをつけている。 (外部評価) 観葉植物や利用者と一緒に作成した飾りをリビングに配置している。また、照明やブラインドにも工夫を凝らし、光量にも注意を払っている。その他、利用者の希望に応じてBGMを流し、心地よい空間づくりに取り組んでいる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングやダイニングでゆったりと過ごせるように気をつけている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時になじみのものを持ってきていただくよう話はしている。 (外部評価) 室温の個別調整など、各部屋の快適さを保つよう配慮している。利用者は自宅からカレンダーや時計、仏壇、テレビ、タンスなどを持参し、それぞれの好みに応じた居室作りを行っている。塗り絵の得意な人は、壁一面に塗り絵を張って楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 最近においを感じることもある。できるだけ換気に、窓を開けたりしている。またすだれなど利用している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりなどの設備はある。ベットの高さの調節ができる。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 個々のできることを把握し、臨機応変にたいおうしている。		
87		○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 花や木を植えたり、家庭菜園を作ったり季節感を味わっていただいている。		玄関先や、駐車場で日向ぼっこをしながらおやつを食べたり、談笑している。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者との暮らしのなかで、微妙な気持ちの変化や小さな思いを汲み取る様どりよくしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある ③ たまにある 4 ほとんどない	できるだけ時間をとりたいと考えているが、限られた人員の中では、難しいときもある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	できるだけ強制はせずご本人のペースで過ごせるようつとめている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔が多く見られるようケアに努めている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調の変化により希望に沿えないときも多い
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	隣接する協力病院夜間や休日にも受診でき安心である。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	場面に応じ、柔軟な対応をこころがけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会のほとんどない方の対応が課題。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	以前は少なかったが地域の方との交流もふえてはきている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議も軌道にのりつつあり、また自治会の行事に参加することで、少しずつ広がりができている。
98	職員は、生き生きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ストレスの多い仕事、体力の要る仕事であるため スタッフは大変である。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居当時に比べ落ち着かれ、生活されている型がほとんどなので。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	職員に言いたいことや、要望をあまり聞けていない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・職員全員で、カンファレンスをし、個人の状態を話しあい、入居者との安心と信頼の関係を築いている。また日々の食事の豊富さや、入居者に楽しんで頂くための行事の充実。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

Ⅴ.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームテレサ

(ユニット名)

2F

記入者(管理者)

氏 名

千葉多佳恵

評価完了日

平成 20 年 7 月 12 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域密着型の意義を職員全員で確認し地域との関係ができるようテレサの目指す暮らしを考えた。		
			(外部評価) 全職員がそれぞれの思いを持ち寄ってホームの理念を作り上げている。まずは職員が笑顔、利用者も笑顔、そして地域の人へ笑顔の輪を広げていきたいという思いから「笑」を理念としている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 日々のサービスの提供場面において理念が反映されるよう月間目標を設け実践している。		
			(外部評価) 職員全員で笑顔を共有し、常にこやかでいられるよう心がけており、毎月の細かい目標を立て「笑」の実践に取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ホーム便りを定期的に発行し、理解してもらえるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩に出かけたりした時は、近隣の方と挨拶したり、話たりしている。少しずつ触れ合う機会がふえている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の活動には、積極的に参加している。近じか地域ボランティアの訪問もある。 (外部評価) 自治会に加入し、地域のボランティア活動にも参加するなどして、徐々に地域との交流を深めてきている。地域の方から畑で取れた野菜をおすそ分けしてもらうこともある。また、地域の運動会等の行事にも積極的に参加している。		一斉清掃、消毒、自治会総会、ふれあいサロンに参加。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 人材育成の貢献として、交換実習もうけいれているが、ホームの機能を還元する取り組みには至っていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を全職員で行い向上に努めている。日々の忙しさから十分な分析ができているとは、言えない。 (外部評価) 職員会議の中で前回の評価内容を振り返り話し合ったほか、評価の内容を整理し文章化することによってマンネリ化を防ぎ、初心に帰る努力をしている。多少の個人差はあるが、職員の理解は深まっている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議により地域とのかかわりはもっている。 現在取り組んでいる内容についても報告し意見をもらうようにしている。		
			(外部評価) 2か月に1回開催しており、ホームの状況報告のほか、地域福祉や認知症に関する勉強会を開催したり、またホームの食事の試食会を実施するなどして、内容に工夫を図っている。	※	勉強会を開催するなど、地域との連携を深め、また、ホームに対する理解を得るための努力が見られる。今後は更に多様な立場からの出席を得て開催することを望む。また、会議を通しての防災への取り組みにも期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 具体的な取り組みはできていない。市町村との連携は今後の課題である。		
			(外部評価) 地域包括支援センターの会議のほか、市地域包括ケアネットワーク会議にも出席し、関係機関のそれぞれの取り組みについて情報を共有している。相談ごとについては、市担当課または地域包括支援センターに相談している。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 書籍や講演などで理解を深めるようにしているがまだ充分ではない。対象となる方への働きかけも不十分。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) カンファレンスや日常会話の中で虐待は絶対にしてはいけないと理解している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居申し込み時と入居のときにしっかりと説明しえいる。その他随時相談にのれる体制をとっている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日常の会話を大切に、訴えがあれば家族につたえている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 個々のケースに応じてスタッフや管理者が報告している。 (外部評価) 家族に利用料の請求書を送付する際、手紙やホーム便りを同封して利用者の状況を報告している。また、家族がホームに訪れた際にも、口頭で報告している。遠方に住む家族も2か月に1度は訪問してくれるので、適切な報告ができています。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会の設立を考えているが、まだ実現していない。 (外部評価) ホーム側には家族会があったほうが良いという思いがあり、家族に対して働きかけは行っているものの、設立までには至っていない。苦情等を受け付ける意見箱の設置はなく、また重要事項説明書等には、苦情相談窓口としてホームの窓口のみが記載されている。	※	家族や利用者がより意見や苦情等を表出しやすくなるように、意見箱の設置や、公的機関等の苦情相談窓口の明示を期待したい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員が意見や提案を言うことがあっても全てが反映されるわけではない。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) スタッフ自体は、助け合っているが、人員不足を感じることがある。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) いまのところそれを意識している利用者は少ない。運営者からの配慮もほぼないが、スタッフは、意識してなじみの関係の継続につとめる。 (外部評価) 人事異動はやむを得ないが、異動が決まった時点で利用者に紹介するなど、なるべく早く馴染めるよう努力している。ユニットごとの担当を決めているが、担当は両ユニットを行き来することを心がけ、緊急時に助け合える体制を整えている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 運営者はあまり積極的でないが、個々のスキルをあげるための取り組みはある。 (外部評価) 平成19年度は研修の実施及び参加はできなかったが、今年度はグループホーム連絡協議会の東予地区研修に参加を予定している。職員の研修に対する意欲は高く、研修会への参加を希望する職員も多い。	※	計画的な研修の実施と、研修会への参加を期待する。平成20年度は研修への積極的な参加を予定しているとのことなので、今後の取り組みに期待したい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 今年度は、相互研修にも参加する予定。 (外部評価) 今年9月に東予地区のグループホーム連絡協議会の中で相互研修を実施する予定があり、また市内のグループホームが集まって勉強会をしようという動きもあり、実現すれば参加したいと思っている。	※	予定はされているものの、これまでの実績はなく、今後の取組みに期待する。また、意識向上やサービスの質を上げるために、研修だけでなく職員同士の交流も実施することを望む。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) スタッフの悩みや不満を伝えても改善してもらえないことはかざられている。今後の課題である。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者との相互理解をできる場を多くしたい。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご本人との面談では、じっくり話を聞き、入居前には、見学してもらい、不安をとりのぞくようつとめている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居申し込み時と入居のときにしっかりと説明しえている。その他随時相談にのれる体制をとっている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 緊急性のある場合は、他の介護サービスの紹介や、ケアマネに連絡するなど、対応している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 事前に見学にきてもらったり、必要なら体験入居をしていただいている。 (外部評価) 入居前に家族や本人の見学を受け入れているほか、面談の後は、管理者が利用者の自宅を訪問するなどして、利用者の生活環境などを把握し、馴染みながらのサービスを提供できるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 料理とうの味付けなど人生の先輩として、入居者からまなんでいる。 (外部評価) 本人の気持ちを大切にケアすることを心がけている。思いをうまく伝えられない利用者については、特に注意深く対応することとし、思いやりのケアを実践している。また、元農家の利用者からは農作業を、女性の利用者には野菜の調理方法など教えてもらうなどしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 広報誌の発行や、ご家族が参加できる行事を企画している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時に近況をはなしたり、相談するようつとめている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) なじみの美容院にいたり、近所の寺院へお参りしたりしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 座席の工夫や、気の合わない入居者同士のトラブルのないよう職員が間にはいり調整している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所後の関係作りはできていない。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 言葉だけでなく、表情からも個人の思いを把握するようにつとめているが、実現できていない。 (外部評価) 日々の観察を積み重ねて利用者の思いを把握するよう努めている。個人ノート・介護記録・申し送りノートなどに、会話の中でのエピソードなどを書き込み、職員全員で共有するようにしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時生活歴など家族に聞き、職員で情報の共有を行っている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) カンファレンスにより、把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご家族とゆっくり話をすることも必要だと思う。そのことにより、よりよい介護計画につながっていくと考えている。 (外部評価) 利用者の情報シートを作成し、職員間で共有している。情報シートは職員全員で情報の付け足しや訂正を行い、常に最新の情報を保ちながらケアにあたっている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) カンファレンスで見直しをしているが、家族との話し合いは、あまりできていない。 (外部評価) 利用者の状況に変化があった時はカンファレンス時に意見を出し合い、見直しを行っている。また、状態にあまり変化の無い人も、月1回は計画の見直しを行っている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 介護記録や個人ノートの記入、確認ができています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 現在の人員では、対応できない。 (外部評価) 墓参りや買い物、家族の宿泊、かかりつけ医以外への通院等、利用者の個別の要望にも可能な限り対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議の成果が少しずつでてきている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 利用者や、家族の希望に沿えるよう支援している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議の参加程度で具体的な協働は、今後の課題。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 希望に応じ、かかりつけ医への受診を支援している。 (外部評価) 定期受診は2か月に1回実施している。その他、ホームには母体病院が隣接しており、医師が頻繁にホームを訪れ、利用者の健康チェック等を行っている。希望があれば遠方の病院であっても受診できるよう、外出支援等も行っている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 日常的に相談できる体制はない。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力病院の外来看護師に相談している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 洗濯ものを毎日とりにいくなど病室を訪問している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族や、医師と相談している。 (外部評価) ホームとしてターミナルケアを行うことはなく、母体病院で対応するという方針をとっており、現在のところ方針について文書化したものはない。	※	口頭だけではなく、文書化したもので利用者や家族に説明し、あらかじめ了解を得ておくことを期待する。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ターミナルケアにかんしては、今後取り組んでいく課題である。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報の提供はおこなっている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人情報の取り扱いには、きをくばっている。 (外部評価) 守秘義務については日常的に指導を行い、徹底している。個人情報に記載した書類等は、来訪者に見られないよう置く場所についても工夫している。また、トイレ誘導時などプライバシーに対する配慮にも努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) できるだけ希望に沿ったケアをこころがけ、楽しく過ごせるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の都合だけでなく、利用者のことを考え笑顔で過ごしていただけるようにしたい。 (外部評価) 食事時間は、利用者個々のペースに合わせて食べられるように設定し、起床・就寝時間についても、利用者のペースに合わせている。入浴も自由にできる体制を取っており、無理強いをしないことをモットーとしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ご本人、家族の方と、相談の上、希望に応じている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下処理、お茶パックづめ、など簡単なことは利用者と一緒にしている。 (外部評価) 個人の好みに配慮し、別メニューで対応することもあり、また、ミキサー食・きざみ食・とろみ食など、利用者ごとに食態にも工夫している。準備や後片付けについては、もやしの根取りや豆の鞘取り、テーブル拭き、食器の片付けなどを利用者と一緒にしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個々の好みに応じて、対応している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 定時、随時のトイレ誘導を行うことで、失禁の回数が減った。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 毎日入浴できる体制がある。時間帯も朝、夕方などできるだけ対応している。 (外部評価) 毎日お風呂を沸かしており、利用者が自由に入ることができる状態になっている。入浴を嫌う利用者が多いが、無理強いはしない方針をとっている。	※	本人の意向を尊重して無理強いをしない方針を取っているとのことだが、入浴してない期間が長くなりがちな利用者もいるため、誘導時の声かけなどで気持ちよく楽しく入浴できるような工夫を期待する。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 入眠、入床時間はその方のサイクルに応じて対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) コミュニケーションを大切にしている。 (外部評価) 新聞折りや洗濯物たたみなどを手伝ってもらっている。また、楽しみごととして塗り絵、裁縫、ビデオ、歌など、利用者はそれぞれが好きなことに取り組んでいる。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 必要におうじて、支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 体調の良いときは散歩や、ドライブに行く。 (外部評価) 美容院やスーパーへの買い物、花見、寺参りなど、利用者の希望に応じた外出の支援をしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個々の希望に応じて、できるだけ実現したい。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご家族に相談して、了承得ながら電話の支援をおこなっている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも訪問して利用者と談笑できるようにしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員全体が身体拘束は絶対にしないと意識している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中鍵はかけていない。危険防止のため、運営者の指示でチャイムをつけている。 (外部評価) 玄関に人の出入りがあるとチャイムが鳴るように設定しているが、日中は鍵をかけないようにしている。安全面の配慮から、段差が大きい出入口については出入りできないようにしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者のプライバシーに配慮しながら安全確認している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 洗剤、薬の保管は、注意している。包丁も夜間は、保管箱をつくり、保管している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 考えられる場面を想定し、予防につとめている、。夜間に事故が起こった場合の連絡体制もあり、後日カンファレンスでも話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 協力病院に指示を仰ぐ。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルはあるが、訓練は実施できていない。 (外部評価) 防災訓練は今年11月に実施を予定している。地域住民に対して、運営推進会議等において防災活動への協力をお願いしている。	※	予定はしているものの、まだ実施されてないため、夜間想定訓練やマニュアルの作成を含め、今後の取り組みに期待する。食料や水などの備蓄についても検討を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) ご家族と充分話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックを行い記録している。月一回の体重測定など健康管理につとめている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬ファイルの作成や処方箋のコピーを整理し、内容の把握につとめている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い食材や乳製品を取り入れている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアは、欠かさずおこなっている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事内容を記録。スタッフの中に調理師の資格を持つものもあり栄養に気を配っている。 (外部評価) 食材担当者が仕入れを行い、その食材を見て、担当者が判断して献立をたて、食事を作っている。同じメニューが続かないよう食事記録をつけている。水分に注意が必要な人は、ペットボトルを活用して水分摂取量をチェックしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 情報収集を行いスタッフで学習をしている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 清潔衛生を保つため、職員で取り決め実行している。食材の点検も定期的におこなっている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 日々気を使っているが充分でない。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 五感、季節感を取り入れる工夫をし、居心地のよい空間づくりにつとめている。 (外部評価) 観葉植物や利用者と一緒に作成した飾りをリビングに配置している。また、照明やブラインドにも工夫を凝らし、光量にも注意を払っている。その他、利用者の希望に応じてBGMを流し、心地よい空間づくりに取り組んでいる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下にソファをおいたり、壁画や、花などで装飾したりしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族の協力を得、本人の意向を確認したうえ、すみやすい居室になるよう支援している。 (外部評価) 室温の個別調整など、各部屋の快適さを保つよう配慮している。利用者は自宅からカレンダーや時計、仏壇、テレビ、タンスなどを持参し、それぞれの好みに応じた居室作りを行っている。塗り絵の得意な人は、壁一面に塗り絵を張って楽しんでいる。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 一定の時間帯に換気しており、温度調節は、利用者の状態を観察しながら調節している。トイレは換気扇、消臭剤を利用。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーや、手すりの設備はあり、個別に必要なものは、工夫している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) わかる力を伸ばしていく手伝いをこころがけている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 箱庭のようにベランダを工夫している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常生活の積み重ねのなかで利用者のおもいや、希望を見つけ出せるようつとめている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 1 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある ③ たまにある 4 ほとんどない	業務に追われゆったりと過ごす時間は少なくなっている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	何事も強制せず、利用者のペースを尊重している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声かけや、レクリエーションなどで、笑顔が多くみられることがある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	身体状況もあり、外出するひとが限られてしまう。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	隣接する病院で夜間や、休日にも受診できる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	そのときに応じた柔軟な対応をこころがけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会の多い家族とは、いろんなコミュニケーションがとれている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	地域との交流は課題である。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	少しずつ理解が深まっている。
98	職員は、活き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ストレスの多いしごとであり、疲れがなかなか取れなかったり、体調を崩す職員もいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	さらに全ての利用者が満足できるサービスをしていきたい。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

心身ともに居心地よく過ごせるよう工夫と配慮（壁画、花などの装飾、行事メニュー、心地よい音楽、など季節感を意識的にとりいれている。

協力病院のとの連携での健康管理

毎日笑顔で過ごせるようにしている。

一人ひとりの声を大切にしている。